



いちごぐみだより

尚徳福祉会 坂戸保育園

2020年2月

冷たい風が体にしみる季節となりましたね。最近では「お外行く人〜！」と声をかけると、「はい」と元気にお返事をしてくれます。帽子や上着の準備をしていると、自然と子どもたちが集まってきます。次は何をするのかな？どこに行くのかな？など少しずつ見通しを持ち、そこに自らの意思で向かおうとする子ども達の姿に大きな成長を感じています。



大きくなったね会

たくさんの笑顔と元気な声で泣いたり、ハイハイや寝返りをしていた春。今では走ったり、自分で衣服の着脱をしようとする姿が見られるようになりました。一人ひとりが大きくなり、友だちと同じことをして遊ぶ楽しさを知り、友だち同士で顔を見合わせ笑いあうなど、いちご組はみんなが笑顔で過ごしています。

この1年で大きく成長をしているいちご組さん。“大きくなったね会”第2部ではクラスで子ども達の大好きなダンスと製作「福笑い」を保護者の皆様と一緒に踊って作って、楽しんでいきたいと思っています。

みなさまのご参加をお待ちしています。



ちからもちお願いします！

給食を食べる前に「ちからもちお願いします」と声をかけると「よいしょよいしょ」と袖を掴んでめくろうとしたり、数名ですがめくってくれるようになりました。そして蛇口に手を伸ばしひねってお水を出そうとする姿が少しずつ見られるようになりました。

給食の準備ができると手を合わせて「…まっす」と待っている子ども達。手づかみで食べていた子が、今ではスプーンを持って食事をする姿があります。おかずやごはんをすくおうとするのですが、スプーンの上にこんもりとのせてしまう子も…。最近ではお皿をピカピカにする子が増えてきました。きれいになると「ピッカピカ」ときれいになったお皿を保育者に見せてくれるいちごぐみさんです。



脱げるかな？

今子ども達が頑張っていることそれは服の着脱です。園庭からお部屋に入る前にお着替えをしています。「じゃあズボンからお願いします」と子ども達に声を掛けると、ズボンに手をかけて脱ごうとする姿があります。ですが一番の難所！それは足首です。

「うーん」「あー」と声を出しながらも頑張っている子ども達、少し保育者が援助してズボンを脱ぐことができると「脱げたよ」と満面の笑みを見せてくれます。